

ひろしま県政だより



岡部 ちづる

広島県議会議員【広島市西区選出】

- 生活福祉保健委員会
- 国際平和 多文化共生 人への投資促進特別委員会
- 2023年 春 初当選

OKABE CHIZURU



発行元 / 公明党 広島県議会議員団 広島市中区中区基町10-52 Tel. 082-513-4660
発行 / 令和7年3月



HP



LINE



Instagram



X

令和6年12月定例会 一般質問

01 ギャンブル等依存症対策について



主に下記の5項目について
質問致しました。



Q: ギャンブル等依存症は、れっきとした病気で回復が可能です。その予防や 回復支援にどう取り組んでいくのでしょうか。

A: 令和6年度から、**ギャンブル等依存症に関する専用ポータルサイトを開設**し、正しい知識の普及と早期の支援につながるよう注力していきます。さらに、**医療従事者を対象とした研修会を開催**し、人材育成を進め支援体制の整備を図ります。今後とも、発生予防から相談、治療などの進行予防、再発予防、回復に至るまでの切れ目のない支援体制の確保に努めてまいります。

着手

Q: また、民間の自助グループとの連携により、当事者や家族への支援を強化する必要があると考えますが、どう取り組んでいきますか。

A: ポータルサイトや医療従事者向け研修等において、**自助グループの役割や情報を紹介するなど新たに開始します。**自助グループと連携し、活動支援の在り方については自助グループの方々とも意見交換を行い検討していきます。

着手

02 LGBTQの方が抱える課題について



Q: LGBTQ当事者は社会生活の様々な場面で、困難に直面しています。LGBTQの正しい知識を周知し、社会の理解や配慮を深める必要があると考えます。

A: 理解を一層深めるため、自治体や企業、医療機関の方々にLGBTQ研修会を実施しているところです。その他、配慮事例など紹介した啓発冊子を作成し配布、高等学校への出前授業や、学校の教職員を対象とした講演会を実施しています。



取組中

Q: ファミリーシップ制度導入の検討について伺います。

A: ファミリーシップ制度が導入されている県では、日常生活や病院受診などの緊急の場面で、近親者等との関係が説明しやすくなるというメリットがあると聞いています。引き続き、国や自治体における議論の状況等を注視しつつ、性の多様性を尊重し、性的指向・性自認にかかわらず自分らしく生きることができる環境づくりに努めてまいります。

解説: ファミリーシップ制度とは、法律上の婚姻関係がなくても、家族として認め合う関係を自治体が公的に証明する制度です。



フラワーフェスティバル・レインボーパレード

03 広島県総合グランド建設時の史実継承について



Q: 広島県総合グランドが、戦時中に大勢の中学生達の勤労奉仕により作り上げられたという史実を、利用する学生や県民の目に触れるように伝え、後世に残していくべきと考えますが、所見をお伺いします。

質問後、県ホームページで新たに情報が掲載されました。

実現



04 液化天然ガスの安定的な供給確保について

Q: 日本は液化天然ガス(LNGガス)の97.9%を海外輸入に依存しています。広島県では、LNGの調達をロシア産に大きく依存しており、この状況をどのように受け止めているのか。安定的な供給確保に向けて、実効性のある支援を国に対して強く求めていく必要があると考えますが、所見をお伺いします。

A: 本県における「サハリン2」に依存したLNG調達は、**地理的に輸送費を抑えられる利点がある一方で、国際情勢の影響により不安定な状況になることが懸念**されます。こうした中、県は国に対して、確実かつ安定的な供給の確保を要望してまいりました。(省略)引き続き、国際情勢などの環境変化が与える影響を注視しながら、確実かつ安定的な供給が確保されるよう、国に対して要望してまいります。

05 高校生への主権者教育について

Q: 令和6年10月衆議院総選挙。広島県の投票率は48.4%と初めて50%を割り込み、都道府県別ランキングワースト1位という結果でした。高校生への主権者教育の取り組みについて伺います。

A: 高等学校では全ての生徒が、公民科の「公共」の授業において政治参加の意義などを学ぶ主権者教育を進めています。例えば、県立高校では、市町の選挙管理委員会による出前講座や、地元議員や大学教員と、地域課題解決への取組について議論するなど、実体験を伴う活動も行っています。さらに、市町の自治体が開催する高校生議会で、地元議員と自治体の政策について質疑を行い、自らの考えを深めるなどの活動も行っています。



みなさまの

お声

を

カタチ

に

信号機を改良

広島市西区観音本町一丁目



バイパス2号線登り口、観音本町交差点の信号機が改良されました。ここでは毎日平均5.7万台もの交通量があり、特に夕方のラッシュが常態化している、車が多い交差点です。ドライバーから『右折専用レーン車から対向車が見えにくく、渡るのが怖い』と声があり対応。昨年10月、「矢印付きの信号機」に改良されました。これで安心してスムーズに右折できます。

社会や地域の課題解決を高校生と共に！

骨髄バンクセミナー

高齢者スマホ相談会

「若者へ、骨髄ドナーへの理解拡大が本当に急務です」と関係者のお声。私立女子高校のご賛同を頂き、骨髄バンクの講演会を開催。元患者の方も体験を語ってくださいました。

他にも、ソフトバンクと私立高校と連携し、井口社協の「高齢者スマホ相談会」の開催を後押ししました。若者の参画による社会や地域課題の解決を進めていきます。



骨髄バンクセミナー



高齢者スマホ相談会

河川の安全対策のために

西区己斐上1丁目 ドラックストアの裏を流れる八幡川。長い間に伸びてしまった雑木や雑草が茂っていました。近隣住民のお声もあり、川の増水時に流水をせき止めないよう、安全対策のため、令和6年12月に伐採。うっそうとした景色がスッキリしています。



ひろしまの女性が健康で輝くために



Femnigation Project 代表

岩下 三希さんと

女性の健康や子育てなどおしゃべり

広島県の女性の健康寿命について以前から、他県と比べて低いと言われていました。令和6年度、県内の女性の健康意識調査を実施。健康課題への対処や受入れ方は人により様々で、“軽症状での受診に心理的抵抗がある”や“周囲に相談しにくい”、“理解を得にくい”などが見受けられました。要因分析を行い、今後特に取り組む課題として、骨折の予防、休養とメンタルヘルス、運動習慣の定着に着目。これらを中心に令和7年度から女性の健康づくりを進めていきます。